

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり、今年の累計は11件となりました。

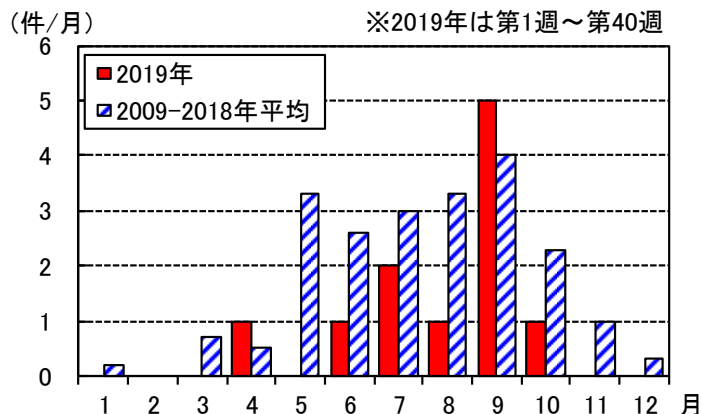
腸管出血性大腸菌は、感染力が強く、汚染された食品を食べたり、患者や保菌者の汚染された手指を通して少ない菌量でも感染します。主な症状は、腹痛、水様性下痢、血便で、溶血性尿毒症症候群(HUS)などの重篤な合併症を起こすこともあります。

例年10月頃までは報告数が多くなっていますので、肉等の食品の十分な加熱、食材・調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行など、感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】腸管出血性大腸菌Q&A(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

腸管出血性大腸菌感染症の月別報告数(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	2	0.05	0.19		小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.77	
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.26		眼科	RSウイルス感染症	64	2.67	1.33	⇒
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	1.46	1.91	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.05	
	感染性胃腸炎	87	3.63	3.81	⇒	眼科	流行性角結膜炎	8	1.00	0.98	
	水痘	1	0.04	0.35		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	44	1.83	1.78	⇒	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	9	0.38	0.17		基幹	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.09	
	突発性発しん	4	0.17	0.39		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	13	0.54	0.37	↓	基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	11	女性(10歳代)・O111、女性(20歳代)・O157・推定感染地域: 国外
4	E型肝炎	1	2	男性(60歳代)
4	日本脳炎	1	1	男性(70歳代)・市外
4	レジオネラ症	1	22	男性(50歳代)
5	急性脳炎	1	14	女性(10歳未満)
5	百日咳	3	72	男性(10歳未満)、男性(10歳代)、女性(60歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告数	第36週	21	7	26	94	3	53	7	12	36	1	85	-	6	-	-	-	-	-
	第37週	16	9	25	86	5	45	9	11	31	3	69	-	7	-	-	-	-	-
	第38週	16	4	25	69	3	36	8	13	27	1	62	-	8	-	-	1	-	-
	第39週	6	1	38	69	2	27	10	9	29	1	63	-	7	-	-	-	-	-
	第40週	2	8	35	87	1	44	9	4	13	3	64	1	8	-	-	2	-	-
定点当 たり	第36週	0.57	0.29	1.08	3.92	0.13	2.21	0.29	0.50	1.50	0.04	3.54	-	0.75	-	-	-	-	-
	第37週	0.43	0.38	1.04	3.58	0.21	1.88	0.38	0.46	1.29	0.13	2.88	-	0.88	-	-	-	-	-
	第38週	0.43	0.17	1.04	2.88	0.13	1.50	0.33	0.54	1.13	0.04	2.58	-	1.00	-	-	0.14	-	-
	第39週	0.16	0.04	1.58	2.88	0.08	1.13	0.42	0.38	1.21	0.04	2.63	-	0.88	-	-	-	-	-
	第40週	0.05	0.33	1.46	3.63	0.04	1.83	0.38	0.17	0.54	0.13	2.67	0.13	1.00	-	-	0.29	-	-
全国	第38週	1.16	0.40	1.44	2.90	0.24	2.17	0.46	0.37	0.79	0.09	2.91	-	0.75	0.01	0.05	0.34	0.01	-
	第39週	0.92	0.36	1.42	2.74	0.21	1.82	0.56	0.35	0.59	0.09	2.36	0.01	0.73	0.02	0.05	0.28	-	0.01

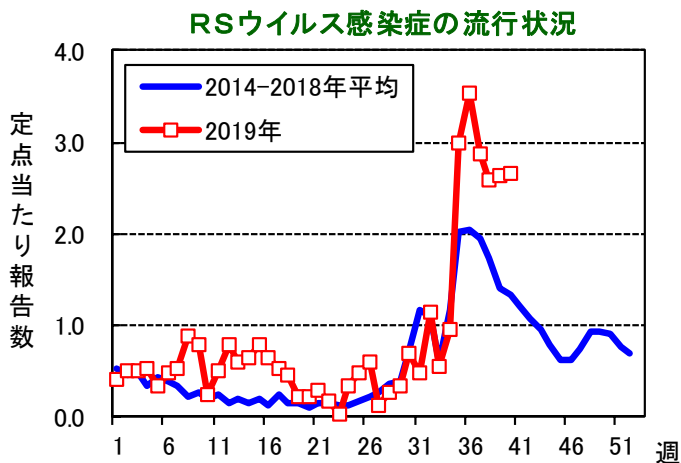
■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
手足口病	丘疹 口内炎	4	女	2019/07/31	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA16型
その他の消化器疾患	腹痛	3	男	2019/08/20	糞便	アデノウイルス31型
その他の疾患	発熱(38.0) 汎血球減少	6	男	2019/08/28	咽頭拭い液	B型インフルエンザウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるRSウイルス感染症の流行状況



定点当たり2.67人の報告があり、例年同時期と比べて多い状況が続いています。患者は0歳、1歳に多く、1歳以下が全体の75.1%を占めています。

RSウイルス感染症の症状は、軽いかぜのようなものから細気管支炎や肺炎などの重篤なものまでさまざまです。特に、1歳未満の乳児は重症化することがあり、注意が必要です。

乳幼児の周囲の方は、手洗いを励行し、咳などの症状がある場合にはマスクを着用するなど、感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html

「HIV(エイズ)検査普及キャンペーン2019 in 広島」(10月14日)を開催します!

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1566454808979/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2019年第40週(9月30日~10月6日)